

第57回「耳の日」実施報告書

平成24年3月3日

一日耳鼻都道府県地方部会から

都道府県	無料相談の実施状況	講演会・映画会などの実施状況	報道機関の協力状況
北海道	<p>耳の日記念「耳の無料相談会」を以下の要領で行った。</p> <p>◎相談会の内容 1, 耳ときこえについての医療相談 2, 耳と聞こえについての福祉相談 3, 耳と聞こえについての補聴器相談</p> <p>◎会場 釧路（平成24年2月19日(日)） 函館（平成24年2月26日(日)） 旭川（平成24年2月23日(木)） 札幌（平成24年3月2日(金)）</p>	なし	北海道新聞を通じて宣伝。 当日は、北海道新聞社が取材が入った。
青森県	なし	<p>市民講座 日時：平成24年3月1日(木) 13:30～14:30 場所：八戸市ポスターミュージアム「はっち」 演題名：「こんな症状要注意 耳の病気」 講師：橋本敏光</p>	なし
岩手県	<p>耳の日無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成24年3月4日(日) 10:00～13:00 場所：岩手医大循環器センター 8階 後援：岩手県・盛岡市・岩手医大・及び各医師会 実施者：医師26名・聴力検査技師5名・看護師3名・補聴器技能士1名・協賛者11名</p> <p>実施内容：受付・問診後、医師が全例診察、必要時聴力検査を施行(気導500・1000・2000・4000Hz 骨導1000・4000Hz)。その上で医師が個別に検査結果などを説明し今後のアドバイスをを行った。場合によって補聴器相談も施行(持参した補聴器の調整のみ)。 今回は昨年の震災後耳鳴や難聴が悪化した方も少なからずいらっしやった。被災地である沿岸部からの相談者も数名いらっしやり、平日通院が困難な高齢者も多かった。個人の結果はコピーして相談者にお渡しした。相談者157名(男性76名・女性81名 13歳～92歳) 聴力検査施行例153例</p>	なし	盛岡市及び周辺地域の広報・タウン誌・新聞(岩手日報・盛岡タイムス)などを通じて宣伝。相談会数日前岩手日報に、地方部会会長の佐藤宏昭教授による「耳の日」についての記事が掲載されたため、県全体に行き渡り非常に宣伝になった。また、岩手県地方部会のホームページ上で前回の様子を写真を交えて掲載し宣伝した。
宮城県	<p>平成24年3月4日(日)仙台市急患センター・仙台市医師会館2階ホールにて11:30～12:00の間に無料医療相談コーナーを設け、計8名の耳鼻咽喉科医の協力を得て約40名の相談に応じた。 3月3日(土)～3月9日(金)の9:00～21:00、宮城県地方部会のホームページ上で無料医療相談を行った。</p>	<p>平成24年3月4日(日)仙台市急患センター・仙台市医師会館2階ホールにて10:00～11:00の間に講演会を行った。今年はせせらぎ耳鼻科・志賀伸之先生の司会のもと「なぜ手術する?『のどの扁桃』」仙台社会保険病院耳鼻咽喉科部長渡邊健一先生、「耳からくるめまい」東北大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科助教宮崎浩充先生の講演が行われた。その後、11:00～11:30の間に質疑応答の時間を設けた。聴衆は80名で盛況であった。宮城県地方部会ホームページ上で、耳鼻咽喉科全般にわたる20項目の演題のバーチャル講演会を公開した。</p>	<p>ポスターを仙台市営地下鉄駅(30箇所)、各医療機関(県内の各病院・開業医)、東北大学病院各所、講演内容を要約したチラシを仙台メディアテーク(仙台市立図書館併設)及び各名義後援先(宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県医師会、仙台市医師会、宮城県病院薬剤師会、河北新報社、朝日新聞社仙台支局、毎日新聞社仙台支局、読売新聞社東北総局、産経新聞社東北総局、NHK仙台放送局、仙台放送、TBC東北放送、KHB東日本放送、ミヤギテレビ、Date fm、仙台リビング新聞社、せんだいタウン情報、ラジオ3、ラジオ石巻、FMいずみ、エフエムいわぬま)などに配布した。また、当日会場で配布するチラシを事前に県内の関連病院と開業医に配布し、待合室などで患者さんに渡した。後援先に報道依頼を事前に行ったため、新聞(朝日新聞・河北新報)、情報誌(河北Weekly)からの協力を得て案内を行った。週1回河北新報の朝刊と夕刊に広告を載せ、週1回河北Weeklyなどにも催しの案内をした。</p>

秋田県	市民公開講座に於いて実施	市民公開講座実施 平成24年3月4日(日)13:00～15:00 秋田市アトリオン7F 秋田市中央男女共同参画センター (ハモニアプラザ) に於いて開催 テーマ「加齢による難聴と対策」 1. 「聞こえのしくみと加齢による難聴」 浅野義一 2. 「加齢による難聴の対策」 阿部 隆 3. 「人工内耳について」 佐藤輝幸 4. 患者体験談 5. 専門医による無料相談 30名 110名参加	市民公開講座の実施について、記事掲載 (秋田市広報・秋田魁新報社フリーペーパー「マ リマリ」・河北新報)。
山形県	「耳の日の無料相談」を山形市医師会、身体障がい者更生相談所などの協力の下に、平成24年3月3日(土)14:00から17:00まで、山形市霞城公民館において行った。医師3人で相談にあたり、相談者は52人であった。	なし	山形市の広報、朝日新聞に「耳の日の無料相談」についてのお知らせが掲載された。またNHKラジオでもお知らせが報道された。庄内地区では荘内日報に「耳の日」の記事が掲載された。
福島県	電話・ファックスによる相談室： 平成24年3月3日(土)18:00～20:00 福島市と郡山市の2カ所で実施した。 福島 8件(電話 8件) 郡山 4件(電話 4件) 【内容】 中耳炎2件、耳鳴3件、難聴2件、人工内耳1件、めまい1件、溶連菌感染症1件、幼児の耳垢1件、耳の異常感1件	なし	地方紙「福島民報」「福島民友」に耳の日の意見広告を掲載した。 (平成24年3月3日(土)付) 【内容】 1. 医療機関の広告(福島民報38医療機関、福島民友28医療機関) 2. 大森地方部会長(福島医大教授)の記事 1) 耳の日とは 2) 新生児聴覚スクリーニング 3) 子供の難聴の早期発見 4) 滲出性中耳炎 5) 子供の急性中耳炎 6) 突発性難聴 7) 補聴器・人工内耳 3. 「耳の日相談室」 平成24年3月3日(水)18:00～20:00 開設場所：福島、郡山 (電話・ファックスによる相談室の案内)
茨城県	平成24年3月3日(土)、水戸市医師会館にて、市民講座、難聴・補聴器相談会を実施した。	平成24年3月3日(土)、水戸市医師会館にて、市民講座、難聴・補聴器相談会を実施した。	なし
栃木県	平成24年3月4日(日)11:00から16:00まで、東武宇都宮百貨店で実施した。済生会宇都宮病院、自治医科大学、獨協医科大学より各1名の耳鼻咽喉科専門医が相談医を担当した。相談者総数は101名(男性41名・女性60名)で、60歳以上が91%を占めた。最高齢94歳、最年少34歳、平均年齢は71歳であった。相談内容は、難聴が54%と最多で、次いで耳鳴23%、補聴器関連10%、めまい3%であった。耳以外の相談は6%であった。	なし	下野新聞平成24年3月2日(金)16面紙上において、「耳の日」の特集記事として難聴(補聴器)に関する取材記事と無料相談の案内が掲載された。

群馬県	平成24年2月19日(日) 群馬大学医学部附属病院内刀城会館にて開催 耳鼻咽喉科専門医、補聴器相談医が補聴器・人工内耳やめまい・耳鳴り、難聴の原因と治療などについての相談に応じる。 相談者 12名	なし	上毛新聞・朝日新聞に掲載。
埼玉県	なし	第41回「耳の日」記念のつどい講演会 平成24年3月4日(日)13:30～ 埼玉県県民健康センター2F 大ホール 講演Ⅰ：「グラハム・ベルとヘレン・ケラーと耳の日」 講師：東京大学 先端科学技術研究センター 客員教授 大沼 直紀先生 講演Ⅱ「難聴の話 ～補聴器？それとも手術で治せますか？～」 講師：埼玉医科大学 耳鼻咽喉科教授 池園 哲郎先生	「埼玉県民だより」、東京新聞ショッパーに掲載。
千葉県	耳の健康に関する無料相談会を以下の要領で行った。 日時：平成24年3月4日(日)10:00～13:00 場所：香取市佐原保健センター 実施者：補聴器相談医8名と日本補聴器販売店協会千葉県部会より支援者20名。 相談者：20名 実施内容：問診、診察、聴力検査を全例に施行後、希望者に補聴器相談を行った。	なし	香取市広報に案内が掲載された。また、香取市医師に耳の日の行事についてのポスターとパンフレットを配布した。 今回の相談会は香取市と香取市医師会の後援を得て行った。
東京都	平成24年3月4日(日)に第57回「耳の日」補聴器・難聴無料相談会を有楽町マリオン11F朝日スクエアにおいて施行。100名の定員に400名近い応募があり、都内15施設からの相談医、日本補聴器工業会、日本補聴器販売店協会の協力、朝日新聞の後援により盛況下に行われた。	なし	朝日新聞社の後援を受けており、実施に先立ち朝日新聞に記事を掲載していただき、有楽町マリオン11階の朝日スクエアを使用させていただいた。
神奈川県	平成24年3月4日(日)10:00～17:00 神奈川県総合医療会館（横浜市中区富士見町3-1） 1) 募集のポスターを作成し、県内各医療機関や老人施設、横浜市各区役所等に貼付し、また、新聞、タウン誌にも広告を掲載した。 2) 58名の相談者が参加した。耳鼻咽喉科医師が問診、耳の診察を行った。 3) 補聴器技能士が聴力検査や補聴器の試聴、簡単なフィッティングを行った。 4) 耳鼻咽喉科医師と補聴器技能士が連携して、相談者の補聴器の装着経験に基づき、助言を行った。 ・耳鼻咽喉科医師 11名 参加 ・補聴器技能士 22名 参加	・補聴器展示（メーカー4社）	・新聞社3社（朝日、毎日、神奈川） ・タウン紙

新潟県	<p>1. 「耳の日」市民公開講座・無料相談会 平成24年3月2日(金) 新潟ユニゾンプラザ 耳鼻咽喉科専門医による無料相談</p> <p>2. 「耳の日」無料相談会 平成24年3月4日(日) 三条市総合福祉センター 耳鼻咽喉科専門医による無料相談</p> <p>3. 施設訪問 平成24年2月26日(日) 介護老人保健施設「えがおと虹の森ふもと」 耳鼻咽喉科専門医による無料相談</p>	<p>1. 「耳の日」市民公開講座・無料相談会 平成24年3月2日(金) 新潟ユニゾンプラザ 耳鼻咽喉科専門医による公開講座 「あなたの耳は大丈夫ですか？きこえと耳の病気について」 「よい聴こえのために～補聴器と人工内耳～」</p>	<p>1. 「新潟日報」で広告(有料) 「中央区だより」「西区役所だより」で広告</p> <p>2. 「三条新聞」で広告</p>
富山県	<p>平成24年3月4日(日)に富山県総合福祉会館・サンシップとやまにおいて「耳の日無料相談会」を実施した。相談会には28名が訪れ、日耳鼻会員(開業医4名+大学所属医師ら)だけでなく、看護師、県更生相談所、聴覚総合支援学校教員、言語聴覚士、認定補聴器技能者、各聴覚障害者団体、手話要約筆記サークルなどのスタッフ約50名の参加を得て、盛況のうちに終わった。関連機関の連携として、年に一度のイベントとして定着している。</p>	<p>平成24年3月4日(日)無料相談会後に、「市民公開講座」を実施した。30名の市民参加者を得て、「ここが聞きたい耳鼻科の病気」というタイトルで、耳以外の疾患についてもシンポジウム形式で講演を行った(司会:渡辺行雄、將積 日出夫、講師:荒館 宏、金沢 佑治、渡辺行雄)。その後、質疑応答を受けつけ、熱心な討論があった。</p>	<p>新聞、テレビ等の他、情報誌などにも掲載して、事前PRを行った。例年のイベントとしてメディアなどでも定着しており、比較的スムーズに利用できるようになった。事前の新聞記事広告(北日本新聞、富山新聞、読売新聞)のほか、当日の相談会の内容も新聞記事など(北日本新聞)で紹介された。</p>
石川県	<p>平成24年3月4日(日)15:00から16:00まで実施、来場者総人数92人。うち講演のみ63人、相談希望者は29人、医師への相談者は14人。相談医は6人で対応。</p> <p>補聴器所有者は4人、装着しても会話、テレビ、会合、講演が聞き取りにくいとの訴え、うち1人は人工内耳についての説明希望。</p> <p>補聴器非保持者は全員聞き取りにくさとそこから来る不便さの訴え、1人は6歳児で、装着の必要性について両親から質問。</p>	<p>平成24年3月4日(日)13:00から15:00まで、医師による講演「新生児聴覚スクリーニングとその後」「国際生活機能分類(ICF)からみた聴覚障害、私達ができること～秋田県での取り組みを振り返って～」の2件</p>	<p>北国新聞への掲載、「耳の日」ポスターの県内各病院・診療所への配布。</p>
福井県	<p>平成24年3月3日(土)公開講座:講演後、無料個別相談実施</p>	<p>医療公開講座 「新しい人工聴覚器・人工内耳」 平成24年3月3日(土)福井県自治会館:山田武千代</p>	<p>なし</p>
山梨県	<p>講演の後に相談会を実施いたしました。地方部会長と講演者と数名の耳鼻咽喉科専門医による講演内容並びに難聴を中心とした耳鼻咽喉科・頭頸部外科の病気、補聴器に関する相談会を行いました。補聴器技能者への相談の方も数名おり有意義でした。相談会には20数名程が残られ、さまざまな相談がありました。</p>	<p>講演会は、大体90名程の来場者がありました。今村耳鼻咽喉科めまい・難聴クリニック院長 今村俊一先生による「つまらないはなしー耳閉感の原因と治療ー」と山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科助教 遠藤周一郎先生による「人工内耳のはなし」についてわかりやすく説明していただき有意義なものでした。山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科での第一号人工内耳装用者の体験発表をしていただき、人工内耳に対する理解をさらに深められたと思われまます。</p>	<p>地元の山梨日々新聞社よりの報道要請があり、翌日の朝刊で耳の日のイベントに関しまして紹介がありました。</p>
長野県	<p>平成24年3月2日(金)15:00～16:00 信州大学附属病院</p> <p>平成24年3月2日(金)14:00～15:00 諏訪赤十字病院</p> <p>平成24年3月1日(木)14:00～15:00 信州上田医療センター</p> <p>以上の3施設で無料相談を実施した。</p>	<p>なし</p>	<p>耳の日無料相談実施の連絡(長野県記者クラブ)。</p>

岐阜県	第18回「耳の日のつどい」開催。 第1部：耳疾患および補聴器に関する講演会 第2部：耳疾患に関する無料相談会	第18回「耳の日のつどい」を開催。 第1部：耳疾患および補聴器に関する講演会 第2部：耳疾患に関する無料相談会	岐阜新聞・岐阜放送
静岡県	なし	市民公開講座を下記の要領で行った。 日時：平成24年3月3日(土)14:00～16:00 場所：沼津市立図書館 視聴覚室 内容： 1.『治る難聴、治らない難聴』 佐々木豊（沼津市立病院 耳鼻いんこう科） 2.『頭頸部癌って何ですか？』 杉山健一（浜松医科大学 耳鼻咽喉科）	SBS静岡新聞社 NHK静岡館
愛知県	市民公開講座終了後、参加者からの難聴、補聴器に関する相談に対して、講師および参加した医師から答えた。	市民公開講座 高齢者の難聴と初めての補聴器 日時：平成24年3月3日(土)13:30～15:00 場所：名古屋市立大学本部棟4階ホール 講演内容：市民を対象に無料で公開講座を行った。 講師：愛知医科大学耳鼻咽喉科 内田育恵 名古屋市立大学耳鼻咽喉科 高橋真理子 参加者： 112 名	中日新聞 平成24年2月22日(水)朝刊に、3月3日(耳の日)に市民公開講座を開催する案内が掲載された。
三重県	あり 77名	「子どもの耳ときこえのはなし」三重病院耳鼻咽喉科 医長 増田佐和子 「成人の耳の病気」三重大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 竹内万彦	中日新聞、三重テレビ、ZTV, FM三重
滋賀県	「耳の無料相談会」を東近江市東庁舎にて平成24年3月11日(日)に開催した。 1.耳鼻咽喉科医師による検診、助言、指導 2.聴能技師による聴力検査、補聴器適合検査および装用指導 3.補聴器の簡単な修理、点検、聴能機器などの展示を行った。	なし	なし
京都府	1.耳と補聴器の相談会 平成24年3月1日(木)相談者：22名 京都市身体障害者リハビリテーションセンター 1)耳鼻咽喉科医師による医療相談 2)言語聴覚士による聴力検査 3)認定補聴器技能者による補聴器に関する相談 2.耳の相談会 平成24年3月1日(木)相談者：53名 京都社会福祉法人ライトハウス 1)耳鼻咽喉科医師による耳に関する相談 3.耳の相談会 平成24年3月4日(日)相談者：33名 京都産業会館シルクホール 1)耳鼻咽喉科医師による耳に関する相談	耳の日記念 公開講演会 平成24年3月4日(日) 参加者：190名 京都産業会館シルクホール 主題 「聞こえを大切に」 講演1.「聞こえの仕組みと難聴の治療―特に幼少児の難聴を見逃さないために」 演者 伊藤壽一(京都大学) 講演2.「新しい補聴器と上手な使い方」 演者 坂口博史(京都府立医科大学)	京都市民しんぶん・京都新聞・KBS京都ラジオにて広報

大阪府	<p>1. 「第48回耳の日特別相談会」を平成24年2月19日(日)に御堂会館で大阪市立大学と東神実業の共催で行った。参加者156名、そのうち医師との相談者は90名であった。</p> <p>2. 「第19回補聴器無料相談会」を平成24年2月26日(日)にハートンホールで大阪府耳鼻咽喉科医会の主催で行った。相談者は60名であった。</p>	<p>平成24年2月26日(日)、毎日新聞オーバルホールにて第16回耳の日セミナー「耳の健康を考える」を行った。</p> <p>主催は大阪府耳鼻咽喉科医会で、(社)大阪府耳鼻咽喉科医会理事・津田 守先生、関西医科大学附属滝井病院教授・岩井 大先生、近畿大学医学部耳鼻咽喉科教授・土井勝美先生が講演した。</p> <p>受講者は450名であった。</p>	<p>1. 毎日放送ラジオ「ドクターM」にて放送、平成24年2月4日(土)・18日(土)に近畿大学医学部耳鼻咽喉科准教授・寺尾恭一先生が講演した。</p> <p>2. NHKラジオ「関西ラジオワイド・季節の健康」にて放送、平成24年2月8日(水)・22日(水)に国立病院機構大阪医療センター耳鼻咽喉科部長・川上理郎先生が講演した。</p>
兵庫県	<p>平成24年3月5日(月)15:00~16:00 2名 神戸大学</p> <p>平成24年3月3日(土)9:00~10:30 4名 兵庫医科大学</p> <p>平成24年3月1日(木)9:00~11:00 3名 神戸市立医療センター中央市民病院</p>	<p>宝塚市 「耳の日の集いと相談会」 平成24年2月26日(日)10:00~16:00 相談者11名 宝塚市総合福祉センター 相談会担当：藤 久仁親</p> <p>神戸地区「耳の日講演会および相談会」 平成24年3月4日(日)13:30~16:00 参加者180名 神戸市勤労会館7F大ホール</p> <p>講演会 山下大介(神戸大学)「難聴について」 後藤友佳子(甲南病院)「補聴器について」</p> <p>相談会 相談者99名 相談会担当： 山下、後藤、高原、蓼原、井上、柴、野崎、藤島、志水、細見、岩倉</p> <p>播州地区「耳の日の集い」 平成24年3月1日(木)13:30~15:00 参加者67名 姫路市西保健センター 瓦井博子(姫路市)「難聴と耳鳴りについて」</p>	<p>神戸新聞紙上座談会 2月25日朝刊に掲載 ・雲井一夫(西神戸医療センター) ・志水賢一郎(神戸市) ・岩倉 進(神戸市)</p> <p>阪神地区 ケーブル放送 3月上旬 「滲出性中耳炎について」 法貴 元(西宮市)</p>
奈良県	<p>日時：平成24年3月1日(木) 場所：奈良県中小企業会館(奈良市) 主催：日耳鼻奈良県地方部会、奈良県耳鼻咽喉科医会、奈良県医師会耳鼻咽喉科部会三部会 協力者：日耳鼻奈良県地方部会会員1名、言語聴覚士1名および全国補聴器販売店協会奈良県支部の補聴器説明員数名、奈良市要約筆記サークル、奈良県医師会職員 状況：無料相談、聴力検査と耳の病気の個人相談や補聴器装用に関する指導などを行った。 参加者：約80名</p>	<p>日時：平成24年3月1日(木) 場所：奈良県中小企業会館(奈良市) 主催：日耳鼻奈良県地方部会、奈良県耳鼻咽喉科医会、奈良県医師会耳鼻咽喉科部会三部会 講演：奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室教授 細井裕司「耳の病気と治療・補聴器」</p>	<p>奈良県の市町村広報紙、奈良新聞に無料相談・講演会の予告が掲載された。</p>
和歌山県	<p>無料相談を各病院(9施設)で実施した。 相談者は45名であった。</p>	<p>なし</p>	<p>県広報室より、新聞社・放送局・情報誌等に資料を配付していただき、数社に無料相談実施日を掲載していただいた。</p>
鳥取県	<p>なし</p>	<p>なし</p>	<p>朝日新聞掲載「耳鳴りについて」 平成24年3月3日(土)</p> <p>TV放送『人工内耳について』 平成24年1月22日(日)・23日(月)・28日(土)</p>
島根県	<p>平成24年3月3日(土)「耳の日」講演会終了後、無料相談会を実施した。</p>	<p>平成24年3月3日(土)「聞こえの仕組みと耳の病気ー小児から高齢者までー」をテーマに、出雲市で講演会を実施した。 講師：川内 秀之(島根大学医学部耳鼻咽喉科教授)</p>	<p>平成24年3月1日(木)山陰中央新報にて、3月3日の講演会、無料相談会の開催告知が掲載された。</p>

岡山県	平成24年3月4日(日)岡山衛生会館にて5名の耳鼻科医が「耳の病気相談」「人工内耳相談」「補聴器相談」を実施。約40人の相談に応じた。また5名の認定補聴器技能者が「補聴器の無料チェック・クリーニング」を行い、約40人の希望があった。また5名の言語聴覚士が「無料聴力検査」を行い、約60人の希望があった。	平成24年3月4日(日)岡山衛生会館にて「平成23年度耳の日の集い」を開催し、ベターコミュニケーション研究会代表 中園秀喜先生の講演「私の生きてきた道～「聞こえ」のバリア解消への提言～」と、映画「武士の家計簿」(字幕付き)の上映があり、約300人の参加者があった。	ONIビジョンと山陽新聞社の協力があった。
広島県	名称：第19回難聴・補聴器よろず相談会 主催団体名：日本耳鼻咽喉科学会広島県地方部会、広島県耳鼻咽喉科医会 場所：世羅町甲山保健福祉センター（世羅郡世羅町大字西上原426-3） 日時：平成24年3月4日(日) 受付時間 10:00～12:00 主催：日本耳鼻咽喉科学会広島県地方部会 広島県耳鼻咽喉科医会 後援：広島県、世羅町 協力：広島県身体障害者更生相談所 入場者数：56名 その他参考となる事項：参加医師7名、参加言語聴覚士2名、広島県身体障害者更生相談所職員4名、補聴器販売店2社	なし	中国新聞社に広報依頼。
山口県	なし	1. 耳の日市民公開講座 日時：2月4日(土)14:00～16:00 場所：下松市スターピア下松2階展示ホール 内容： 講演1「最近の補聴器について」鼓ヶ浦こども医療福祉センター耳鼻咽喉科 池田 卓生 講演2「睡眠時無呼吸症候群について」たむら耳鼻咽喉科 田村 光司 講演3「花粉症について」小林耳鼻咽喉科 小林 究 参加約200人の一般市民の方々が聴講に来ました。 2. 耳の日市民公開講座 日時 3月3日(土)13:00～15:00 場所 海峡メッセ下関 内容 総合司会 山下裕司教授(山口大) 「知っておきたい鼻の病気と鼻づまり」山下裕司教授(山口大) 1「鼻づまりが大人と子どもの睡眠に及ぼす影響」原 浩貴先生(山口大) 2「鼻の病気と中耳炎の関係について」下郡博明先生(山口大) 3「鼻の病気 最新の手術治療のご紹介」橋本誠先生(山口大学) 4会場からの質疑応答	「耳の日」の広報が地方紙(宇部日報)に掲載された。
徳島県	なし	平成24年3月18日(日) 徳島大学・武田憲昭教授による「高度難聴と人工内耳」の講演を行った。	なし
香川県	耳の日記念講演会終了後、補聴器に関する相談を行った。毎月2回、高松市において、補聴器の無料相談(ボランティア団体「補聴器ネット香川」により行われている。)に協力している。	平成24年3月11日(日)に小豆郡土庄町の町立中央公民館で「耳の日記念講演会」を開催した。	なし
愛媛県	平成24年2月26日(日)新居浜市中心身障がい者福祉センターにおいて、「新居浜難聴医療・補聴器相談会」を無料で行った。	平成24年3月4日(日)13:00～16:30まで、愛媛大学南加記念ホールにおいて、「第24回愛媛ヒアリング研究会(EHA)」を実施した。「人工内耳をめぐる現状と課題」、「愛媛県下の教育機関に在籍する難聴児の実態調査」などの講演があった。	なし
高知県	高知県地方部会のホームページ上で、インターネット無料相談を実施。	なし	高知新聞へ「進歩する難聴治療」の記事を掲載。 (インターネット無料相談の案内についても併せて掲載)

福岡県	<p>1. 福岡地区耳鼻咽喉科専門医会（五孔会）主催で第24回「耳の日」イベントを平成24年3月4日（日）、アクロス福岡に於いて開催し、多くの来場者が訪れた。コーナー企画としては、昨年同様、睡眠時無呼吸症候群、内視鏡による鼓膜供寛、補聴器の相談、ティンパノメトリー、聴力検査、花粉症相談、人工内耳、薬剤師による薬の相談、中途失聴難聴者福祉協会による相談、耳鼻科専門医による無料健康相談、子供の聞こえとことばの相談、講演などを行った。また、福岡県言語聴覚士会が後援団体として参加され「大人のこぼと嚙下障がいの相談」のコーナーも行った。また、無料相談は、5時間で119名の相談者が訪れ、のべ31名の耳鼻咽喉科専門医が対応した。各コーナーは今年も昨年を上回る相談者の方が訪れ、盛会となった。また、福岡県地方部会後は後援として参加した。</p> <p>2. 北九州市耳鼻咽喉科専門医会では、平成24年3月4日（日）に東部障害者福祉会館「ウェル戸畑」において北九州市難聴者・中途失聴者協会と共催で「平成24年難聴者耳の日記念市民集会」を開催し、約80名近くの方が来場された。今年は、記念講演と耳鼻咽喉科専門医による耳に関する相談などを約20名の方に行った。無料相談には、耳鼻科医4人で対応し、耳の診察と聴力検査の結果で今後の方針等をアドバイスを行った。</p>	<p>1. 福岡地区耳鼻咽喉科専門医会の主催で、第24回「耳の日」講演会を平成24年3月4日（日）にアクロス福岡で開催した。講演は4題で、福岡市薬剤師会 岸田義博先生には「外用薬の正しい使い方について～吸入、点鼻、点耳～」を、福岡県言語聴覚士会 佐々木 哲先生には、「おいしく安全に食べるために～ご存知ですか？ 摂食・嚙下障害への対応」と題し、わかりやすく、すぐに役立つような講演をして頂いた。花粉情報協会 松山大学薬学部医療薬学教育センター臨床薬学研究室教授、難波弘行先生には「スギ花粉症と花粉対策～生活指導とOTC薬を含めた対症療法～」を、五孔会 河野浩万先生には「耳垢の話ーその役割と外耳疾患との関わりー」についてそれぞれ役立つ内容を詳しくご講演いただいた。また、トークショーでは、ゲストに林さやかさんをお迎えして五孔会会長の野上兼一郎先生と耳に関するお話を聞かせていただいた。今年はおおよそ200名の方にご来場いただいた。</p> <p>2. 北九州市耳鼻咽喉科専門医会では、平成24年3月4日（日）に「難聴をおこす疾患と対応」と題し、北尾耳鼻咽喉科医院 院長 北尾健二郎先生にご講演いただいた。今年も難聴者の方々の日常生活における悩みを解決する方法について分かり易くお話いただいた。来場者は58名の方が訪れた。</p>	<p>1. 福岡地区耳鼻咽喉科専門医会では、2月19日（日）、3月1日（木）読売新聞、2月27日（月）西日本新聞・健康欄、福岡市・筑紫野市のホームページ・市政だより、アクロス福岡情報誌、本年度新たに大野城市の広報誌に掲載された。</p> <p>その他、公民館、薬剤師会、補聴器販売店、NPO福岡中失聴者支援福祉協会、福岡県言語聴覚士会を通して、パンフレットを配布し、ポスター掲示を行った。</p> <p>また、福岡市市役所1階の情報プラザ、アクロス福岡2階の文化観光情報ひろば・福岡市の市民福祉プラザ・健康づくりセンター・総合図書館にパンフレットを配布した。</p> <p>2. 北九州市耳鼻咽喉科専門医会では、北九州市政（3/1）だより、福祉施設・耳鼻咽喉科医院・認定補聴器専門店などに案内文を掲載した。</p>
佐賀県	<p>無料相談会を以下の要領で行った。 日時：平成24年3月4日（日）10：00～12：00 場所：「道の駅」大和そよかぜ館 内容：佐賀大学耳鼻咽喉科医師による問診・診察・相談、場合に応じ聴力検査、補聴器相談 相談者数：21名</p>	なし	<p>1. 平成24年2月19日（日）付《読売新聞》内の補聴器特集欄に「耳の日」無料相談会の案内を掲載</p> <p>2. 平成24年2月24日（金）付《佐賀新聞》別冊に「耳の日」無料相談会の案内を掲載</p> <p>3. 佐賀市が発行する《市報さが》（平成24年3月1日号）ならびに、佐賀の生活情報誌《月刊ぶらざ》3月号へ「耳の日」無料相談会の案内を掲載</p>
長崎県	補聴器、人工内耳についての無料相談	<p>講演会</p> <p>1) 中耳の病気 奥 竜太（長崎医療センター耳鼻咽喉科）</p> <p>2) 乗り物酔い 野田 哲哉（野田耳鼻咽喉科）</p> <p>3) 心と言葉と耳の関係 田中 英雄（田中補聴研究所）</p>	大村市：市ホームページでのイベント紹介 長崎新聞：健康欄でのイベント紹介 KTNテレビ長崎：番組内でのイベント紹介 マンボウ（大村市総合広告情報誌）：イベント紹介
熊本県	なし	<p>一般向けの講演会を以下の要領で行った</p> <p>日 時：平成24年2月25日（土） 13:00～16:00</p> <p>場 所：熊本大学医学部附属病院 山崎記念館1階 研修ホール</p> <p>内 容：「人工内耳について」 人工内耳装用者の体験発表 質疑応答</p> <p>講 師：湯本 英二 （熊本大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）</p> <p>主 催：日本耳鼻咽喉科学会熊本県地方部会 共 催：熊本大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 熊本県難聴者中途失聴者協会</p> <p>参加者：約50名</p>	新聞での広告掲載：読売新聞 熊日新聞（有料）
大分県	平成24年3月4日（日）、10:00～13:00までトキハわさだタウン（大分市）において第12回耳の日無料相談会を開催した。75名の相談者があった。	なし	平成24年3月3日（土）、大分合同新聞に「耳の日特集、頭を動かしたときに回転するよなめまい」と題して記事を掲載した。

宮崎県	<p>平成24年3月3日(土)の14:00～16:00まで無料相談会を実施した。7つの一般相談ブース、補聴器相談ブースを作り、日耳鼻専門医の医師及び聴覚検査技師で対応した。</p> <p>計96名の来場者数を集める事ができ、例年以上に盛況のうちに行えた。来場者へのアンケートでは好評な意見を多数頂いた。相談件数としては難聴の相談が多かった。</p>	<p>平成24年3月3日(土)の午後1時から2時まで無料市民講演会を実施した。人工聴覚器医療の最前線と題して講演会を開催したが、来場者アンケートでも講演会を目的に来場された方も多く、講演会では熱心にメモをとって聴講される方も多く、大変好評であった。</p>	<p>例年通り県内の主要マスコミへのプレスリリースや新聞広告によるPR、また今年は補聴器販売店舗でのPR活動の協力が得られた。また、県の健康づくり協会で保健師や学校教諭等へのPR活動に協力頂いた。</p>
鹿児島県	なし	<p>第5回耳の日ならびにアレルギー週間公開講座</p> <p>日時：平成24年3月4日(日)13:00～14:30 場所：鹿児島県医師会館 内容：耳と鼻の健康とセルフケアと題して以下講演をおこなった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 耳のしくみと働き (鹿児島大学耳鼻咽喉科 黒野祐一) 2. 難聴・耳鳴りと補聴器装用のコツ (鹿児島大学耳鼻咽喉科 宮之原郁代) 3. 正しく知ろう！アレルギー性鼻炎 (鹿児島大学耳鼻咽喉科 大堀純一郎) 	<p>生活情報誌(南日本新聞フェア、リビングがごしま)に掲載。</p>
沖縄県	<p>平成24年3月4日(日)「沖縄県立博物館・美術館」において市民公開講座耳の日講演会に併設する形で耳の日無料相談を実施した。相談者数は12人であった。</p>	<p>平成24年3月4日(日)「沖縄県立博物館・美術館」において市民公開講座耳の日講演会を開催した。講演内容は①耳と「めまい」の関係、②中耳炎って何だ？③聞こえを取り戻すの三講演を行った。参加者は106名であった。</p>	<p>平成24年2月28日(火)の琉球放送(RBC iラジオ)および平成24年3月1日(木)のNHK(NEWS沖縄610)において耳の日についてのインタビューと市民公開講座耳の日講演会についての報道協力を得た。</p>